

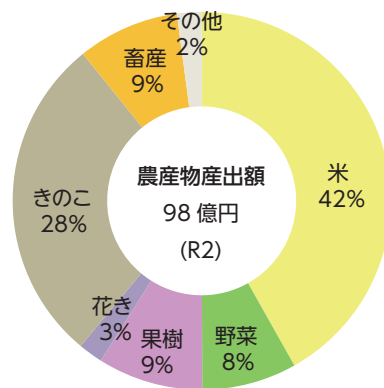
# 北アルプス地域の整備方向

## 地域農業の特徴と農地の整備状況

### ○地域農業の特徴

北アルプスの麓に位置し、地域の中央を北に姫川、南に高瀬川が流下しています。冷涼な気候と清冽な水に恵まれ、水稻を中心とした農業が営まれるとともに、地域の特性を活かして、りんごワイン用ぶどう、ブルーベリー等の農産物が生産されています。

また、栽培された農畜産物・加工品等の中から優れたものを「北アルプス山麓ブランド」として認定し、農業振興や地域の産業振興を図っています。



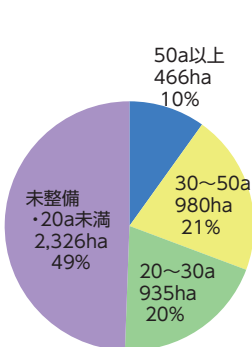
### ○農地等の整備状況

水田の20a以上の整備率は、51%となっており、その大半を大町市、池田町、松川村の平坦地が占めています。一方、30a以上の整備率は31%に留まっており、狭小な区画が多い状況にあります。中山間地域などでは、経営体育成基盤整備事業による狭小区画の水田の再整備、地すべり対策事業による農地等の保全を進めています。

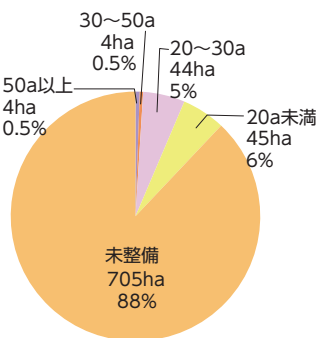
基幹的農業水利施設については、全延長64kmについて保全計画策定済みとなっており、計画的な更新を進めています。



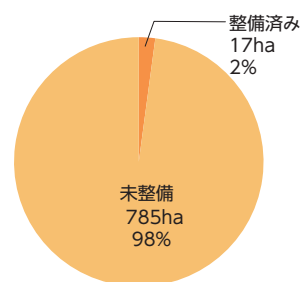
〔管内の農地面積 5,509ha〕



〔水田整備〕



〔畑地整備〕



〔畑かん整備〕

〔基幹的農業水利施設の一覧〕

	用排水路 (km)	頭首工 (か所)	用排水機場 (か所)	水路橋 (か所)
延長・箇所	64	5	0	0
		水路トンネル (か所)	サイホン (か所)	ダム・ため池 (か所)
		0	2	0

〔農業農村整備事業による ICT やスマート農業の導入状況〕

自動給水栓	ため池の遠隔監視
<p>1 地区 23ha 二重地区</p>	<p>9 か所 大沢寺、居谷里ほか</p>

地域の現状と課題

- ▷ 高瀬川沿岸の水田地帯では、北アルプスの豊富な伏流水に水源を求めた農業用水により、水稻を中心とした農業が営まれています。米需要の減少等による米価の下落や資材等の高騰により、酒米をはじめとした米の高付加価値化、生産コストの低減、高収益作物への転換など更なる収益性の向上が必要です。
- ▷ 白馬山麓の狭小で不整形な農地が散在する水田地帯では、荒廃化や無秩序な宅地化が懸念されており、農地保全の対策が必要です。
- ▷ 大町市、池田町、白馬村では、狭小な農地を区画拡大すると共に高収益作物の導入を進め、複合経営化による安定した農業経営が期待されています。
- ▷ 人口減少や高齢化の進行により、集落機能の維持や地域の共同活動に支障をきたすことが懸念されています。
- ▷ 中山間地においては、狭小な未整備の水田も多く残っており、農業用排水路などの農業用施設の老朽化など、基盤整備が必要な箇所が残っています。
- ▷ 農村地域の安全安心を確保するため、地すべり対策工事が必要です。



・狭小なほ場や老朽化した水路  
 ・農道が接していないほ場  
 → 基盤整備の必要性が高い

施策の展開方向

I 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

達成指標

	現状 (R3 年度)	→	目標 (R9 年度)
○稼ぐ産地を支える基盤整備（区画拡大等）の実施面積	27ha		82ha

整備方向

- ▷ 農地の条件整備（ほ場の区画拡大、用水路の地中化、ICT を活用した自動給水栓導入）を実施し、大型機械の導入や水管理の省力化による生産性の向上を図ります。
- ▷ ほ場整備に併せて高収益作物の導入を可能にする水田の汎用化や畑地化などを進め、収益性の向上を図ります。
- ▷ ほ場の区画拡大に併せて、農地中間管理事業を活用して、担い手への農地集積・集約化を促進します。



経営体育成基盤整備事業会染西部地区（池田町）

- ▷ 区画拡大に併せ水田の汎用化・畑地化を行い、収益性の高い農業を展開しています。



経営体育成基盤整備事業北城南部地区（白馬村）

- ▷ 区画拡大に併せ水田を畑地として整備し、白ネギ栽培を開始しています。

## II 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

達成指標	現状 (R3 年度)	→	目標 (R9 年度)
○地すべり防止施設の長寿命化が完了する区域	—		9 区域
○防災重点農業用ため池の耐震性評価が完了する箇所数	—		4 か所
○農業用水を活用した小水力発電施設の設置箇所数	1 か所		2 か所

### 整備方向

- ▶ 地すべり防止施設の機能を維持するため、計画的な更新と長寿命化を推進します。
- ▶ 農村地域の安全・安心を確保するため、ため池の耐震性点検を計画的に実施するなど、防災減災対策を推進します。
- ▶ 農業水利施設管理の安全を確保するとともに省力化に資するため水門操作の自動化・遠隔化を推進します。
- ▶ 農業水利施設の適正な管理等に資するため小水力発電施設整備を推進します。



Before



After

地すべり対策事業宮本地区排水路の長寿命化対策

## III 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

達成指標	現状 (R3 年度)	→	目標 (R9 年度)
○多面的機能を維持・発揮するための活動面積	3,931ha		4,011ha
○農業資産の歴史等について地域内外の理解を深めるため環境整備した疎水等の箇所数	2 か所		4 か所

### 整備方向

- ▶ 農地や農業用水路等の地域資源を維持保全し、次代へ引き継ぐため、地域の共同による農業水利施設等の保全管理活動を支援します。
- ▶ 疎水等の農業資産に係る歴史などを、案内看板やHP など様々な媒体で情報発信を行い、地域学習の教材や観光資源として活用する取り組みを支援します。
- ▶ 信州棚田ネットワークと連携した棚田の魅力発信による、都市住民や企業など多様な主体との連携・協力を促進します。



体験学習 上原温水路 (大町市)

TOPICS

生産コストの低減と高収益作物の導入による持続可能な農業経営のための基盤整備を進めています

先端技術の導入や高収益作物の導入を可能にする農地の整備

～経営体育成基盤整備事業 二重地区（大町市）、会染西部地区（池田町）、北城南部地区（白馬村）～

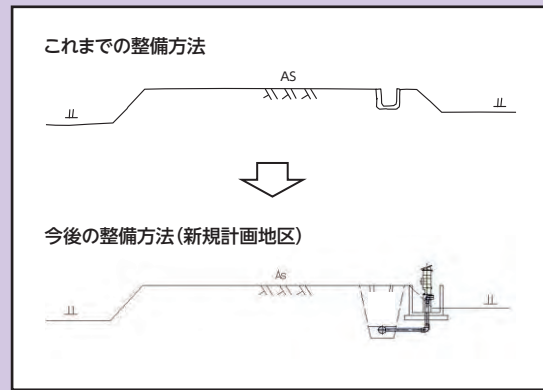
水稻を主な栽培作物とする北アルプス管内では、生産コストの低減が収益性向上のためには必要不可欠となっています。

そこで、区画の拡大に併せ更なる生産コストの低減のため ICT を活用した自動給水栓の導入を進めています。（二重地区、北城南部地区）

また、農業用水路等の地中化（パイプライン）は、水管理労力の低減や作業の安全性の向上が図られることから採用に向けて調整を進めています。



二重地区の自動給水栓



地中化（パイプライン）のイメージ

更なる農業経営基盤の強化を図るため、高収益作物の導入を可能にする水田の汎用化や畑地化を推進しています。（二重地区、会染西部地区、北城南部地区）



北城南部地区の畑地化計画

基板整備 + 新排水対策

〈カッターブレーカー〉



【施工の原理】



- ・50cm深さまで透水性改善
- ・全ての土壌に対応
- ・多少の石・礫に対応

水田の汎用化